



ビーバーが来たっ

動物園としては長い冬がそろそろ終わりを告げ、木の芽が吹き出す季節となってきました。そんな時期に合わせかみねの山にも新着動物たちが続々とやってきています。前にも紹介したメスのレッサーパンダに続きオスが来園しました。名前をイチといい、平成21年5才になる毛並みのいいレッサーパンダで、人間で言えばイケメンチックなオスです。来園早々、檻越しにお見合いをさせたところお互い気になるようで特にメスのマーマーがモーションをかけてるので、早い段階で一緒にしました。ところが、ご対面したら、かえってマーマーはつれない素振り。おい、それはないだろって感じでイチはグランドをぐるぐる回って気を紛らしていました。うーん、人間社会でもこんな風景ってあるような…



オスのレッサーパンダ (イチ)

そんなドサクサにまぎれてアメリカビーバーがやってきました。実は、ビーバーはアメリカ・バーミングハム動物園から動物交換で来る予定だったのですが、日本の法律(感染症の予防に関する法律)によりビーバーなどの齧歯目の輸入にはかなり厳しい制限がかかっており現時点でアメリカの動物園からは輸入できないことが判明したのです。このため、動物業者を通して国内の動物園から入れることにしました。ビーバーは来園してからしばらく隔離獣舎で様子を見ていたのですが、最初のうちは移動と環境変化のストレスからか満足に餌を食べてくれませんでした。しかしその後環境にも慣れてきたのか徐々に採食するようになったことからビーバーの池に放すことにしました。水の生活を待ち焦がれていたのでしょうか、まずは自分の休息の場を覚えてもらおうと寝室に入れたのですが、すぐに飛び出し飛びませんけど…)池の中に入っていました。そして気持ちよさそうに潜ったり泳いだりをひとしきり繰り返したあと、今度は自分から寝室へ入っていました。

ビーバーは夜行性が強いので昼間は比較的休んでいることが多いので来園者にとってはちょっと物足りないかもしれませんが、でも、休んでいてもビーバーの姿は見えるようになっているし、ときおり思い出したように池に入っていつたりしますので、当園では40年ぶりとなるビーバーをぜひご覧下さい。

このほか、今月中にはメスのライオンが入ってくる予定となっています。なかなか賑やかな春の訪れとなりそうですが、動物だけでなく園内もお客さんで賑やかになって欲しいものです。



食事中的アメリカビーバー



池の中のアメリカビーバー

2009年3月1日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)